

家庭学習のねらい

- ① 家庭での学習習慣を身につけられるようにする。
- ② 学校で学習したことを家庭でも繰り返し学習することによって、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ③ 発展的な内容や自ら見つけた課題に取り組むことにより、主体的な学習態度を育てる。

家庭学習を支えるポイント

長続きをさせるために

- 始める時刻を決める
- 学習する場所を決める
- テレビなどを消し、机に向かうように促す
- がんばりを認め、ほめて励ます

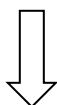
家庭での援助として

- 机の上を整頓して学習環境を整える
(机の上には、学習用具だけをのせる)
- 毎日、学校からの連絡帳やお便りなどを必ず確認する
- 規則正しい生活に努める



規則正しい生活は学力向上への近道

- 早寝・早起きの習慣をつける
- 朝ごはんを毎日食べる
- 食事や対話など、家族で過ごす時間を大切にする
- 宿題などの勉強は決めた時間にします
- テレビやゲームの時間を決める
- 本を読む時間をつくる



学習時間

低：20分

中：30分

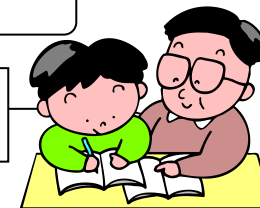
高：40分



GIGA パソコンを使った家庭学習

月曜日と水曜日は GIGA パソコンを使った宿題が出ます。GIGA パソコンを使い、e-ライブラリーやミライシードを使ったドリル学習、音読の録画、調べ学習などに取り組みます。GIGA パソコンは、学習に便利な道具なので自学などにも活用しましょう。必要のないことに使用しない、長時間続けて使用しないなどルールやマナーを守り、安全に使用しましょう。

家庭学習の5つの効果



① 学ぶ習慣と喜びが身につく

毎日、決めた時間に家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につく、学ぶ楽しさや喜びを感じるようになります。低学年のうちから続けることで、勉強することが面倒ではなくなり、やがてごく当たり前の基本的な学習習慣になります。

② 予習…習うことへの意欲が高まる

学校で学習することを家庭で予習することは、自ら進んで取り組むことになるので、自然と勉強が好きになっていきます。予習をしておく、先生の言っていることや、黒板に書かれていることが理解しやすくなり、授業が復習にもなります。

③ 脳が発達する

読み・書き・計算などの反復練習を自ら続けることで、脳が活性化されると言われています。最近では、脳の老化を防ぐために、子どもだけでなく大人でも声を出して読んだり、計算したりすることがブームになっています。脳は、筋肉と同じで、鍛えれば鍛えるほど発達するとも言われます。

④ 家族とのふれあいができる

子どもの音読をそばで聞いてあげる、分からないときに一緒に考えたり調べたりしてあげることで、家族のふれあい（コミュニケーション）ができます。家族のふれあいの機会が増えることにより、子どもが心身ともに健康に育ち、自信とやる気を深め、しいては学力も伸びていきます。

⑤ テレビやゲームの誘惑に負けない子になる

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームです。テレビやゲームを毎日2時間以上見たりしたりしている子は、一般的に本を読むのが苦手で勉強が嫌いという傾向があります。テレビやゲームの誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ・根気・集中力を養うことができます。テレビやゲームに打ち勝つためには、本人はもとより家族みんなの協力が不可欠であることは言うまでもありません。

積極的に読書に取り組むことで、多くの単語・漢字に触れることができ、読解力や語彙力が身に付きます。特に週末には、進んで読書に取り組みましょう。低学年は、読み聞かせをしてあげるのもよいです。